

(発表方法)

- ✓ ポスターは12/9（土）12時から17時まで、または12/10（日）8時30分から10時までの間に所定のパネルに展示すること。
- ✓ 発表者はコアタイム（12/10（日）10時～11時30分）にはポスター前に常駐し、発表内容に関心を持った聴衆に対して自由に発表・質疑を行うこと。
- ✓ コアタイム終了後、12時30分までポスターを展示したままにしておくこと、また展示を終えたポスターは発表者が持ち帰ることを推奨。

(注釈)

- ✓ No.：ポスターセッション-パネル番号。
- ✓ 区分：①：農村計画学会論文集に採用された論文・報告（査読付）の発表（*は責任著者），②：農村計画学に関する学術的価値がある研究や事例・調査報告のうち未発表の内容の発表

学術研究発表会に関する問い合わせ先：学術研究委員会（arp_academic@rural-planning.jp）

◆コアタイム：12/10（日）10時00分～11時30分

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
P-1	②	Lim Changsik	Seoul National University Graduate School	Kim Miwha, Im Jeongbin	The Ripple Effects of Inter-Korean Agricultural Cooperation on North Korea's Economy	
P-2	②	Taesoo Choi (崔泰洙)	Seoul National University	Jongwook Lee	Effect of Parental Migration on Cognitive and Non-Cognitive Abilities of the Child Left-Behind.	Evidence from Vietnam
P-3	②	伊豆 正成	近畿大学大学院	大石 卓史	ジビエペットフードに対する飼育者の認知と購入意向	順序ロジットモデルによる分析
P-4	②	池田 勇士	滋賀大学	藤田 亮磨, 三前 優真, 松下 京平	昆虫食受容に影響を与える要因	
P-5	②	宮田 真由	秋田県立大学大学院	岡田 直樹	農村の内発的発展におけるクラブ型組織の有効性	秋田県によるGBビジネス事業を対象に
P-6	②	山道 未貴	熊本県立大学	柴田 祐	縮小化していく集落における集落機能の維持・継承の実態	
P-7	②	若菜 千穂	特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター		住民の主体的な参画による農村交通の方法と課題	

P-8	②	石井 裕樹	筑波大学大学院	山本 幸子, 菅俣 直也, 大澤 義明	農村集落の電力オフグリッド化の可能性に関する研究	石岡市上山集落を対象として
P-9	②	大澤 啓志	日本大学		「みやひのしをり」にみる江戸郊外の在来野草類の花見行楽活動	
P-10	②	内川 義行	信州大学	遠藤 由都, 城田 徹央	新たな里山管理方法としての山地放牧の可能性と初期的課題	長野県根羽村放牧地を事例として
P-11	②	新里 早映	東京農工大学大学院	青山 優菜, 中島 正裕	広域連携による次世代育成事業の運営実態の解明	コーディネーターの役割に着目して
P-12	②	田原ほの花	近畿大学大学院	大石 卓史	大学・地域連携の一方策としてのCSA (Community Supported Agriculture) に対する大学関係者の評価	農学部の学生・教職員を対象としたアンケート調査に基づいて